

■一般会計と特別会計の決算額

会 計 区 分		歳 入	歳 出	差引収支
一 般 会 計		(▲10億5,888万円) 196億6,665万円	(▲10億2,734万円) 188億9,172万円	(▲3,155万円) 7億7,493万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	22億7,461万円	22億5,538万円	1,923万円
	国 保 大 正 診 療 所	5億4,512万円	5億4,496万円	16万円
	国 保 十 和 診 療 所	9,460万円	9,460万円	0万円
	大 道 へ き 地 診 療 所	815万円	815万円	0万円
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	3億3,725万円	3億3,604万円	121万円
	介 護 保 険 事 業	26億9,738万円	25億7,071万円	1億2,667万円
	特別養護老人ホーム窪川荘	3億4,411万円	3億4,402万円	9万円
	特別養護老人ホーム四万十荘	2億5,511万円	2億5,511万円	0万円
	農 業 集 落 排 水 事 業	2,804万円	2,804万円	0万円
	下 水 道 事 業	5,594万円	5,594万円	0万円
全会計合計[単純合算]		(▲10億2,813万円) 263億696万円	(▲9億6,565万円) 253億8,467万円	(▲6,246万円) 9億2,229万円

■企業会計(公営企業)の決算額

水道事業会計	収 入	支 出	差引収支
収益的収支(消費税抜き)	5億4,608万円	4億9,860万円	4,748万円
資本的収支(消費税込み)	1億7,773万円	4億1,867万円	▲2億4,094万円

※[資本的収支]差引収支不足額は過年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんしています。

■基金(一般会計と特別会計)残高

会計	基 金 名	金 額	会計	基 金 名	金 額
一 般 会 計	一般会計財政調整基金	43億1,077万円	一 般 会 計	奨 学 金 返 還 支 援 基 金	2,820万円
	減 債 基 金	11億3,676万円		土 地 開 発 基 金	2億1,403万円
	施 設 等 整 備 基 金	19億2,907万円		奨 学 金 貸 付 基 金	1億2,270万円
	地 域 福 祉 基 金	2億5,931万円		県 証 紙 売 捌 基 金	69万円
	地 域 振 興 基 金	2,503万円		一般会計小計	(+3億3,680万円) 134億2,830万円
	ふるさと創生基金	1億3,457万円	特 別 会 計	国 保 会 計 財 政 調 整 基 金	1億5,772万円
	中山間ふるさと・水と土保全基金	2,289万円		国保会計高額医療費貸付基金	1,060万円
	ふるさと支援基金	26億7,894万円		国 保 大 正 診 療 所 基 金	0万円
	農業集落排水事業振興基金	684万円		国 保 十 和 診 療 所 基 金	0万円
	新しい町づくり基金	1,091万円		介護会計財政調整基金	2億8,477万円
	合併特例債まちづくり基金	16億1,850万円		特別養護老人ホーム窪川荘基金	2,310万円
	園芸作物価格安定基金	8,500万円		特別養護老人ホーム四万十荘基金	0万円
	過疎地域持続的発展特別事業基金	5億4,589万円	全 会 計 合 計		(+3億731万円) 139億449万円
	防災まちづくり基金	2億2,108万円			
	学校施設等整備基金	1,238万円			
	森林環境整備基金	6,474万円			

■町の財産

- ◇ 土 地 ……2,417万889㎡
(うち山林 ……1,412万8,352㎡)

◇ 建 物 ……19万7,992㎡

◇ 推定立木 ……69万7,456㎡

◇ 地上権 ……3,394㎡
- ◇ 有価証券 ……105万円

◇ 出資権利 ……5億2,798万円

◇ 債 権 ……1億6,094万円

◇ 物 品(自動車等) ……234 台

◇ 物 品(美術品等) ……751 点

■町債残高(全会計)

会 計 名	町債残高	実質負担額※
一 般 会 計	(+4,301万円)	(+3億233万円)
	183億9,158万円	43億6,074万円
	国 保 大 正 診 療 所	3億3,425万円
	国 保 十 和 診 療 所	2,439万円
	特 養 四 万 十 荘	390万円
	農 業 集 落 排 水 事 業	7,702万円
	下 水 道 事 業	1億7,129万円
水 道 事 業 会 計	32億167万円	26億2,333万円
全 会 計 合 計	(▲1億8,340万円) 222億410万円	(+2億1,177万円) 73億9,984万円

(注)各表の上段()書きは、一般会計合計並びに全会計合計の前年度からの増減額を表しています。

※町債(地方債)は、公共施設の建設や災害復旧事業などの財源として町が借り入れるお金で、いわゆる町の借金です。しかし、個人の借金とは違って、将来その返済(元利償還金)の一部が地方交付税として国から交付されるものが多数あります。

左表のとおり、一般会計の町債残高は183億9,158万円ありますが、そのうち地方交付税で交付されるものなどを除き、町が税金などで支払う実質の負担額は43億6,074万円(町債残高の23.7%相当額)となっています。

町民一人あたりに使われるお金(年間)	目 的 別		町民一人あたり
	議 会 費		7,247 円
	総 務 費		343,284 円
	民 生 費		226,167 円
	衛 生 費		86,413 円
	労 働 費		3 円
	農 林 水 産 業 費		108,025 円
	商 工 費		39,772 円
	土 木 費		108,679 円
	消 防 費		49,901 円
	教 育 費		83,253 円
	災 害 復 旧 費		39,782 円
	公 債 費		118,248 円
	諸 支 出 金		0 円
	計		1,210,774 円

(令和年5年3月31日現在の人口15,603人)

令和4年度の主要事業

- 電力・ガス・食料品など価格高騰緊急支援事業

●生活支援・マイナンバーカード取得促進事業

●畜産競争力強化整備事業

●ふるさと支援推進事業(ふるさと納税)
- 移住・定住促進事業(住宅整備や補助金など)

●人材育成推進事業(町営塾、ビジネスコンテストなど)

●子育て支援事業(出産祝金など)

●高齢者対策(在宅福祉事業、配食サービスなど)

一般会計の決算状況

歳入総額は196億6,665万円、歳出総額は188億9,172万円で、歳入歳出差引額は7億7,493万円となり、さらに翌年度へ繰り越すべき財源2億2,323万円を除いた実質収支は5億5,170万円の黒字となりました。

令和4年度は、歳入では繰入金で4億8,726万円の増となった一方、都道府県支出金で4億9,333万円の減となったほか、普通交付税で3億2,114万円の減となっています。

歳出では、コロナ禍における物価高騰緊急支援給付金事業および生活支援・マイナンバーカード取得促進事業ならびに畜産競争力強化整備事業、ケーブルシステム光回線終端装置再構築事業などを実施する一方、木材加工流通施設整備事業が完了したことや、公債費が減となっています。

この結果、前年度の決算額と比較して歳入で10億5,888万円・5.1%の減少、歳出で10億2,734万円・5.2%の減少となりました。

また、町の預金である基金残高は、前年度末から3億3,559万円増加し130億9,087万円となり、町の借金である地方債残高は前年度末から4,301万円増加し183億9,158万円となっています。

詳細については、町ホームページ
「四万十町の財政状況」コーナーで公表しています。



歳出決算の表示方法として、「目的別 ※1」と「性質別 ※2」の2種類がありますが、一般会計決算では「目的別」のみで表示しています。
※1 目的別 … 予算科目「款」の分類別
※2 性質別 … 地方財政状況調査による分類別

